

HGM002-P01

会場:コンベンションホール

時間:5月24日 16:15-18:45

## ネパール西部における地震を考慮した斜面崩壊の脆弱性マッピング Landslide susceptibility mapping considering earthquake in west Nepal

佐藤 浩<sup>1\*</sup>, 八木 浩司<sup>2</sup>

Hiroshi, P. Sato<sup>1\*</sup>, HIROSHI YAGI<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 国土地理院, <sup>2</sup> 山形大学

<sup>1</sup>GSI of Japan, <sup>2</sup>Yamagata Univ

2005年パキスタン北部地震のときに生じた斜面崩壊の分布データを教師データとし、活断層からの距離、傾斜、凸度、尾根谷密度の4つを説明変数としてネパール西部の27km × 27kmの対象地区の地震時の地すべり脆弱性をマッピングした。活断層からの距離については、対象地区のMain Boundary Faultについては横ずれ断層を想定し、Himalayan Frontal Faultについては上盤・下盤を区分して計測した。残りの三者については、30m解像度の数値標高モデル(Digital Elevation Model, DEM)から計算した。脆弱性の分類にはInformation Value(InfoVal)の方法を用いた。その結果、Very low(崩壊面積率, 0-1%。以下同様), Low(1-3%), High(4-9%), Very high(10-75%)の4分類の脆弱性がマッピングされた。ただし、崩壊面積率に応じた閾値の決定については客観性を持たせることが今後の課題である。

キーワード: 地すべり, 脆弱性, ネパール, 地震, 断層

Keywords: landslide, susceptibility, Nepal, earthquake, fault